

会員の活動報告

(2020年11月～2021年10月)

伊川 徹

- スッパリ大改造！——表話と裏話 その3——（「ひろば *Place de CAF⁺N°3*」, 日仏文化講座 CAF 電子版, pp.5～7、2021年1月）
- スッパリ大改造！——表話と裏話 その4——（「ひろば *Place de CAF⁺N°4*」, 日仏文化講座 CAF 電子版, pp.6～8、2021年5月）
- L'Eau viveの思い出（「別冊シャンソン・フランセーズ研究 第1号」, シャンソン研究会電子版, pp.20～21、2021年7月）
- スッパリ大改造！——表話と裏話 その5——（「ひろば *Place de CAF⁺N°4*」, 日仏文化講座 CAF 電子版, pp.6～8、2021年9月）

大久保 朝憲

- のぞましき述語と有利き述語（『關西大學文學論集』第70巻第3号、関西大学文学会、2020年12月）
- Quelques remarques sur la description des termes d'évaluation dans le cadre de la TBS（Colloque international : Argumentation et énonciation – la sémantique argumentative en dialogue（オンライン）2021年10月）

奥 純

- 『アラン・ロブ＝グリエの小説II』（著書、関西大学出版部、2020年11月）

柏木 治

- ロマン主義的遠近法——王政復古期における理念と現実のあいだ（『關西大學文學論集』第70巻第3号、関西大学文学会、2020年12月）
- 「大きな欠点ない」（新聞記事、第37回織田作之助青春賞・奨励賞選評、『毎日新聞』、2021年1月10日）
- 第37回織田作之助青春賞選評（雑誌記事、『三田文學』第144号・冬季号、三田文学会、2021年2月）
- 第37回織田作之助青春賞・奨励賞選評（雑誌記事、『文學回廊』、大阪文学振興会・織田作之助賞実行委員会、第6号、2021年3月）

友谷 知己

- 「アルディ『リュクレース』に於ける悪徳の詩学」(『仏語仏文学』第47号、2021年3月)

山川 清太郎

- コートジボワールのスラング「ヌッシ」の意味的傾向(口頭発表、日本国際文化学会第20回全国大会オンライン、近畿大学、2021年7月10日)

後 記

長年にわたり本学会に貢献してこられた柏木治教授が、2021年3月をもって退職されましたので、この『仏語仏文学第48号』をご退職の記念号とさせていただきます。柏木先生は在職中、教育、研究、組織運営など、全ての面において多大な功績を残されました。ご尽力に対し厚く感謝申し上げますと共に、今後の、ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

さて、本年度も新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、混乱の続く一年になりました。本学会も、昨年同様、2021年12月18日（土曜日）に総会のみを ZOOM にて遠隔で開催し、研究発表会は開催できませんでした。そんな中でも、会員の皆様の研究意欲は衰えず、本号にも多くの研究論文をお寄せいただきました。ご執筆いただきました皆様には、心から敬意を表しますと共に、厚く御礼申し上げます。

また、本号には、2021年3月に卒業した2名の学部学生、吉田恵梨華さんと南光未緒さんの卒業論文を掲載しました。吉田さんの論文は昨年度の文学部優秀論文賞に、南光さんの論文はその次点に選ばれたもので、いずれも極めて優秀な論文です。このような混乱の時期にあっても、深く思考をめぐらせることができる人が育ってくれるのは、本当に嬉しいことです。お二人とも、すでに社会人として活躍されていますが、ますますのご活躍とご健勝を心からお祈りしたいと思います。

今年こそは事態が収束し、12月には皆さまと関大のキャンパスでお目にかかることができますように、心から祈っております。

（編集委員会）

関西大学フランス語フランス文学会々則

1. 本会は関西大学フランス語フランス文学会 (Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) と称し、事務所を関西大学文学部フランス語フランス文学専修合同研究室に置く。
2. 本会はフランス語フランス文学に関する研究および発表と、これに関連する事業を行なうことを目的とする。
3. 本会は次の事業を行なう。
 1. 機関誌「仏語 仏文学」(Bulletin de la Société de langue et littérature françaises de l'Université Kansai/The Bulletin of Kansai University Society for the Study of French Language and Literature) およびその他の出版物の刊行。
 2. 研究会・講演会の開催。
 3. その他本会の目的にかなう事業。
4. 本会はその目的に賛同する次の会員をもって構成する。
 1. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修専任教員。
 2. 関西大学大学院文学研究科フランス文学専攻・専修学生、およびその修了者 (旧学科名称時の大学院修了者を含む)。
 3. 関西大学文学部総合人文学科フランス語フランス文学専修学生、およびその卒業生 (旧学科名称時の学部卒業生を含む)。
 4. 本会の趣旨に賛同し、入会を認められた者。
5. 本会の目的を達成するため会費を納入する。
6. 本会に次の役員を置く。その任期は1年とし、重任を妨げない。
 1. 会 長 1 名
 2. 委 員 若干名
 - a. 企画委員
 - b. 編集委員
 - c. 庶務・会計委員会長と委員によって委員会を構成し本会の実務の運用に当り会長はこれを統括する。
7. 会員は機関誌「仏語 仏文学」等の配布をうける。また会員は機関誌への投稿、および本会の行なう事業に参加することができる。なお、投稿論文は、会則6に定める委員会の議を経て掲載される。
8. 本会の重要事項は総会の議決による。

(2007年4月1日から施行)

仏 語 仏 文 学 第 48 号

2022年3月15日 発行

編集・発行 関西大学フランス語フランス文学会
吹田市山手町 関西大学
フランス学研究室
印刷所 株式会社 遊 文 舎
大阪市淀川区木川東4丁目17番31号
電話 (06) 6304-9325(代)

(非 売 品)